

まこと通信

一般
質問

県立高校魅力化の取組について

質問 高校の特色化・地域と協働した 県立高校魅力化の取組が必要では？

教育長 答弁 他県では、地域との連携による高校魅力化方策として、自治体、中学校、大学や地元企業等とコンソーシアムを構築して地域に根ざした人材育成に取り組んだり、地域と連携した公営の塾を設立したりするなどの取組例がある。

このような取組は、生徒の実践的な学びの貴重な機会となると同時に、地域の活性化に資するものであり、県立高校、地域双方にとって特色・魅力そのものになり得るものと考えている。

特に定員割れが課題となっている高校においては、県立高校の強みを生かして、更なる魅力化を図り、地域を支え、地域から必要とされる学校づくりが必要であると考えます。このため、今後、魅力向上に向けて地域との協働が重要と考えられる地区や学区について、重点的な取組を進める。

質問 県立高校魅力化に向けて具体的に どのように進めるのか？

教育長 答弁 具体的には、各学校が、その使命を再定義したスクールミッションを地域と共に考え共有する取組や、これを踏まえて、地域の特色や課題について学ぶ「総合的な探究の時間」や、地域ならではの「学校設定科目」の充実・活用を促進する。

また、学校と自治体や企業、大学等とのコンソーシアム構築に必要な支援を行うとともに、地区・学区内の県立高校のネットワークを活用した、広報活動の共同化などの取組を進める。

さらに、ICTの積極的な活用は地区間格差の解消にも資することから、遠隔授業や反転授業、個別最適化された学びの実践などICTを最大限に活用した先進的な教育活動を推進する。

コンソーシアムとは…互いに力を合わせて目的に達しようとする組織や人の集団。共同事業体。



佐々木は
こう思う

児童生徒数 この15年で大幅減 県立高校は抜本改革の議論を

福岡県の県立高校は、13の学区に分かれています。この学区毎の人口を高校入学の年齢である15歳および、現在の1歳を比較してみました（別表参照）。

田川市郡は実に15年で現在より293人、実に3割近く減少します。これは40人学級7クラス分にあたり、高校1学年分をゆうに超えます。そして、2割を超える減少率は5学区に及んでいることも分かります。この数字を見る限り、近い将来、多くの県立高校は、その存続も含め、大きな課題が突きつけられる、と言っても過言ではありません。

田川地域はもとより、福岡県内の県立高校は、間違いなく大きな岐路に立たされています。私は、県立西田川高校のように教育課程の変更や再編、新しい学科の創設など、県立高校のあり方について早急に議論する環境を構築すべきだと思います。

県立高校の学区ごとの15歳及び1歳人口（総数）人・%

出所：総務省「国勢調査（2020年10月1日）」

学区名	地域名	15歳	1歳	増減率	増減人数
第1学区	築上郡・豊前市・京都郡・行橋市	1,601	1,337	-16.5%	-264
第2学区	北九州市門司区・小倉北区・小倉南区・戸畑区	4,294	3,746	-12.8%	-548
第3学区	北九州市若松区・八幡東区・八幡西区・遠賀郡・中間市	4,606	3,500	-24.0%	-1,106
第4学区	宗像市・福津市・糟屋郡・古賀市・福岡市東区・博多区の一部	7,424	7,519	1.3%	95
第5学区	那珂川市・太宰府市・春日市・大野城市・筑紫野市・福岡市博多区の一部・中央区の一部・南区の一部	8,117	8,146	0.4%	29
第6学区	糸島市・福岡市中央区の一部・南区の一部・城南区・早良区・西区	6,902	6,305	-8.6%	-597
第7学区	うきは市・朝倉市・朝倉郡・久留米市（旧田主丸町）	1,063	839	-21.1%	-224
第8学区	三井郡・小郡市・久留米市（第7・第10学区に含まれる地域を除く）	2,897	2,525	-12.8%	-372
第9学区	八女郡・八女市・筑後市	1,137	945	-16.9%	-192
第10学区	三潁郡・大川市・柳川市・みやま市・大牟田市・久留米市（旧三潁町・城島町）	2,453	1,846	-24.7%	-607
第11学区	田川市・田川郡	1,040	747	-28.2%	-293
第12学区	嘉麻市・飯塚市・嘉穂郡	1,561	1,225	-21.5%	-336
第13学区	直方市・鞍手郡・宮若市	892	740	-17.0%	-152
計		43,987	39,420	-10.4%	-4,567

※複数の学区をまたぐ福岡市博多区（第4、第5）、中央区（第5、第6）、南区（第5、第6）については、市の中学校区ごとの住民基本台帳上の15歳人口及び1歳人口に基づき按分。

コロナ対策 経済活性化へ 856 億円増額 県議会議員・県職員賞与削減を実行

12月定例議会は12月1日開会し、服部知事から3次にわたる補正予算等の議案が提出されました。また久留米市長選挙に出馬するため辞職願を提出していた十中副議長の辞職を承認したことに伴う副議長選挙が行われ、私が所属する会派の仁戸田県議が副議長に選出されました。

一般会計の補正内容は、①新型コロナウイルス感染症の第六波への備え、8月豪雨災害復旧・復興、地域活性化対策など17億5300万円の増額補正、②人事委員会勧告を受けて期末・勤勉手当を0.15月分引き下げによる29億9200万円余の減額補正、③国の補正予算を最大限活用した、「新型コ

ロナ対策」(194億円余)「地域経済活性化」(157億円余)「安全安心の確保」(517億円)等、総額868億円余の補正予算、その他企業会計・流域下水道会計(老朽設備の整備)で約3.8億円の補正予算が追加提出されました。

これによって12月議会一般会計補正予算は差し引き855億9100万円余の増額補正となりました。補正予算案を含む提出議案は全て原案の通り可決し、12月20日閉会しました。

一般会計補正予算の主な内容

新型コロナウイルス感染防止対策と保健・医療提供体制の強化

● 感染防止対策の強化	
新 ○ 無料 PCR 等検査を実施	77 億 8400 万円余
新 ○ 変異株の監視体制を強化	1 億 5300 万円余
○ 介護、障がい福祉サービス事業所の感染防止対策支援 <small>(介護サービス事業所 約 7700 事業所 障がい福祉サービス事業所 約 8000 事業所)</small>	1 億 9500 万円余
○ 感染症が発生した介護サービス事業所の事業継続支援 <small>(現計予算 1 億 4200 万円余)</small>	9800 万円
○ 介護サービス事業所における介護ロボット・ICT 導入支援	1 億 6300 万円余
新 ○ 「福岡県宿泊施設感染防止対策認証制度」を創設	5100 万円余
○ 地域公共交通における感染防止対策を支援	1 億 8400 万円余
○ 学校等における感染防止対策を支援	7 億 5000 万円余
● ワクチン接種体制の強化 (3 回目接種向け)	
○ 個別接種を促進	41 億 9500 万円余
● 保健・医療提供体制の強化	
新 ○ 自宅療養者に対する健康観察を強化	3 億 1900 万円余
○ 感染管理リーダー看護師研修会を実施	100 万円余

安全安心の確保

● 災害の復旧・復興	
○ 災害復旧の効果を高め、災害の再発を防止	119 億 500 万円余
○ 地すべりやがけ崩れ発生個所の再発防止対策	11 億 4300 万円余
○ 被災した国指定文化財の復旧支援 (8 月豪雨)	51 万円余
● 防災・減災	
○ 緊急輸送道路等を整備	166 億 4900 万円余
○ 洪水・土砂災害防止、港湾の老朽化対策等を推進	124 億 4300 万円余
○ ため池等の安全対策を実施	50 億 2900 万円余
新 ○ 通学路の緊急安全対策を実施	16 億 3900 万円余

地域経済の活性化と成長・発展、雇用・生活の支」を支援

● 事業継続の支援	
○ 地域の公共交通を維持	6 億円余
○ 「緊急経済対策支援資金」の受付期間延長に伴い、融資枠を拡大し保証料を全額補填 <small>(現計予算 5 億 3000 万円余)</small>	1 億 4300 万円余
● 地域の活性化	
○ データセンター等の企業誘致の工業用地(直方・鞍手工業用地造成)整備	5700 万円
● 次代を担う「人財」の育成	
新 ○ 中小企業における DX 推進人材を育成	9100 万円余
○ 先端半導体等の高度技術人材を育成	5500 万円余
新 ○ 農業における DX 人材を育成	2700 万円余
新 ○ デジタル・グリーン人材を育成	3300 万円余
○ 県立学校の ICT 環境を整備	6400 万円余
● 本県経済を支える中小企業の支援	
○ DX、経営革新を推進	6 億 1500 万円余
○ 地域商品券を追加発行 <small>(発行規模 132 億円 発行期間 令和 4 年 1 月から 3 月 ※現在 350 億円規模に上積み)</small>	12 億 4700 万円余
● 稼げる農林水産業の振興	
○ 農業 DX を推進	3 億 5600 万円余
○ 高性能機械・設備導入により生産性を向上	39 億 9000 万円余
○ 県産品の販売・消費拡大	7 億 2000 万円余
● 処遇改善・働き方改革	
新 ○ 医療福祉の現場で働く方々の処遇を改善	77 億 8900 万円余
○ 県行政のデジタル化を推進	4 億 6500 万円余
● 雇用対策の強化	
新 ○ ひとり親家庭等の女性を支援	2800 万円余
○ 新規大卒未内定者を支援	500 万円余
○ 人材不足分野での就職・人材確保を支援	1200 万円余
● 生活困窮者の支援	
○ 生活福祉資金特例貸付の申請期間を延長 <small>緊急小口資金及び総合支援金(初回)は令和 4 年 3 月末まで / 総合支援金(再貸付)は令和 3 年 12 月末まで</small>	47 億 1000 万円

過疎対策事業として4,180万円追加配分 過疎議連として国・県へ要請実る

田川市は、国から「過疎地域」に指定されています。そして過疎対策事業を行うため「過疎債」の発行が可能となり、その発行額の概ね7割を国が支援します。

今回第2次分として、田川市には新たに4,180万円が内示され、合計で32億860万円がつかうことができました。

今年度は中学校建設事業の予算に過疎債を使うことができたので、市としても大きな財政支援につながりました。

私も、県議会過疎対策議員連盟の一員として、田川市を始め、過疎地域の活性化のため、県議会で行っています。引き続き、これらの支援を引き出せるようがんばります。

過疎対策事業第2次分事業一覧

【ハード】 市民会館改修事業・医療機器購入事業	計 470 万円
【ソフト】 子ども医療費助成事業・子育てクーポン券 支給事業他	計 3,710 万円

総計 4,180 万円 第1次分・第2次分 計 32 億 860 万円

「女性と子どもの自殺増を受け対策を求める意見書」 私の所属する会派が提案し全会一致採択

2020年は新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、自殺の要因となりうる様々な問題が悪化したことにより、自殺者数は11年ぶりに前年を上回りました。

特に、女性の自殺者数が前年より935人、児童生徒の自殺者数は過去最多の499人となり、深刻な状況です。

自殺の原因は、多様で複合的な原因・背景を有し、様々な要因が連鎖する中で起きていますとされていますが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活困窮や精神的不安等からの自殺者数のさらなる増加が心配されています。

今回、私の所属する会派から、これらの問題に早急に対応するよう意見書を提案、全会一致で賛成となり、国に送付されることになりました。

福岡県における自殺相談電話

- ふくおか自殺予防ホットライン 092-592-0783 (24時間365日対応) 0120-020-767 (月曜日から金曜日16時～翌日9時、土日祝日9時～翌日9時)
- 福岡いのちの電話 092-741-4343 (24時間365日対応)

要望事項の主な内容

- 一 自殺総合対策大綱の見直しにあたり、現行の自殺対策の取組と他の関連施策との連携を強化すること
- 二 国は、地方自治体が策定する自殺対策計画づくりを支援し、計画に基づく事業への財政支援や事業の結果の検証を行うことで国が地方自治体と連携して全国的な自殺対策を改善・進化させること
- 三 自殺対策に資する、若年世代への「包括的な生きる支援」の強化や、働く人の尊厳と健康が守られる職場を増やすための枠組みづくり、「よりそいホットライン」の拡充など、「自殺総合対策大綱」に即した対策を実現するための予算等を確保すること
- 四 小中高校での相談体制の強化と子どもの意見表明権を保障する仕組みとともに、学校外にも若者の居場所作りを進めること

介護・障がい福祉サービス職員処遇改善 月額9千円増を2月～9月開始

国が決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」に基づき、介護職員を対象に賃上げ効果が継続される取り組みを行うことを前提として、収入を3%程度(月額9,000円)引き上げるための予算案が12月定例会で出され、可決成立しました。

事業所の判断により、介護事業所で働く介護職員以外(事務職など)の処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるなど、柔軟な運用も認めています。なお、この賃上げ予算は、全て介護事業所へ支払われます。すべての介護事業所で労働者に行き届くよう、要望していきます。

主な内容

■対象期間

2022年2月～9月の賃金引き上げ分(それ以降も、別途賃上げ効果が継続される取り組みを行うことが条件)

■補助金額

対象介護事業所の介護職員(常勤換算)1人当たり月額平均9,000円の賃金引き上げに相当する額。対象サービスごとに介護職員数(常勤間)に応じて必要な加算額を設定し、各事業所の総報酬にその加算率を乗じた額を支給

■交付方法

対象事業所は、都道府県に対して申請し、対象事業所に対して補助金支払

■取得要件

処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを取得している事業所(現行の処遇改善加算の対象サービス事業所)等

※(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)福祉用具貸与、特定(介護予防)福祉用具販売、(介護予防)居宅療養管理指導、居宅介護支援、介護予防支援は対象外

■対象となる職種

介護職員

※事業所の判断により、他の職員の処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう柔軟な運用を認める。

平成筑豊鉄道の運行継続へ支援 今年度県独自で2,266万円へ

コロナ禍によって、平成筑豊鉄道をはじめ、地域公共交通の輸送人員は、平均してコロナ前の概ね6～7割程度と激減しました。緊急事態措置が解除された今年10月以降は、通勤・通学等の利用者は戻りつつありますが、昼間のビジネス利用や週末の観光・レジャーなどの利用者が十分に戻っておらず輸送人員はコロナ前の8割程度にとどまっています。

従来から人口減少や少子高齢化によって利用者が減少傾向にある鉄道・乗合バス事業者にとって、厳しい状況が続いています。

今回、平成筑豊鉄道・甘木鉄道から、県および県議会に対してさらなる支援の要請があり、12月定例会で「地域公共交通事業継続支援費」として、合計、7億9,300万円余を交付しました。

二場市長をはじめ平成筑豊鉄道沿線首長
社長から要望書を頂いている様子



福岡県が行った平成筑豊鉄道に対する支援一覧

内容	金額(1989年から2020年)
出資金	7,500万円
沿線市町村が設立した基金への出捐金	2億3,700万円
レール・まくら木の交換など安全運行に要する経費	6億300万円
車両更新支援	7億2,500万円
「ことごと列車」の導入支援	5,200万円
豪雨災害からの復旧支援	5,200万円
新型コロナウイルス感染拡大の影響に対する運行継続支援	2,700万円
事業費補助	2億7,900万円
平成筑豊鉄道推進協議会負担金	200万円
合計	20億5,200万円

地域公共交通支援事業の主な一覧

乗合バス

- 西鉄バス筑豊(株) 5,488万円
- 西日本鉄道(株) 1億4,374万円
- 西鉄バス北九州(株) 1億1,663万円
- 西鉄バス久留米(株) 5,060万円
- 西鉄バス大牟田(株) 1,709万円
- 西鉄バス二日市(株) 2,838万円
- 西鉄バス宗像(株) 1,686万円
- JR九州バス(株) 1,560万円

地域鉄道

- 平成筑豊鉄道 2,266万円
- 甘木鉄道 1,648万円
- 筑豊電気鉄道 5,768万円

タクシー事業者

- 法人260社・個人1843社
1億713万円

福岡県の格差を考える。

解決したいと考える課題の一つに「地域格差」の問題があります。生まれた場所や地域によって、教育や雇用収入等その後の人生のいろいろな場面で格差が生じてしまうことがあってはならないと思いますし、それを解決することこそが政治の役割だと考えます。

本県では県内を15の圏域に分け、それぞれの地域事情や課題に応じた市町村支援や地域振興策を講じています。しかしながら現実の問題として、本県においても地域格差は確実に存在し、その差はむしろ拡がりをみせています。

このことは、市町村の人口減少問題やこどもの貧困問題とも無関係ではなく、早急な対策が必要であると考えます。

本報告書では、本県のようなデータを詳らかにし、地域格差について考える一助にしたいと思います。

● 汚水処理人口普及率 2020年/%

全 国	92.1
福 岡 県	93.4
④福 岡 市	99.9
①北 九 州 市	99.9
⑤筑 紫	99.8
⑦宗 像・糟 屋 北 部	99.1
⑥糟 屋 中 南 部	98.2
②遠 賀・中 間	96.5
⑪久 留 米	91.6
⑧糸 島	90.9
⑨朝 倉	84.7
⑫有 明	75.3
③京 築	75.3
⑩八 女・筑 後	74.9
⑭嘉 飯	61.6
⑬直 方・鞍 手	59.3
⑮田 川	49.5

● 市町村の審議会等委員の女性比率 2020年/%

全 国	27.1
福 岡 県	32.9
①北 九 州 市	52.2
⑦宗 像・糟 屋 北 部	35.5
⑪久 留 米	34.5
④福 岡 市	34.4
②遠 賀・中 間	32.3
⑧糸 島	32.1
⑩八 女・筑 後	30.7
⑤筑 紫	30.5
⑭嘉 飯	30.1
⑬直 方・鞍 手	29.9
⑨朝 倉	28.4
⑫有 明	27.8
⑥糟 屋 中 南 部	25.4
③京 築	24.3
⑮田 川	21.4

● 65歳人口1万人あたり高齢者福祉施設等数 2021年/件

全 国	—
福 岡 県	11.6
⑮田 川	20.1
⑬直 方・鞍 手	17.5
⑨朝 倉	16.3
③京 築	15.6
⑭嘉 飯	15.5
⑫有 明	15.1
⑩八 女・筑 後	15.0
②遠 賀・中 間	14.8
⑦宗 像・糟 屋 北 部	13.0
⑪久 留 米	12.2
①北 九 州 市	10.9
④福 岡 市	9.9
⑧糸 島	9.6
⑥糟 屋 中 南 部	9.5
⑤筑 紫	8.7

● 人口千人あたり刑法犯認知件数 2020年/件

全 国	4.9
福 岡 県	5.4
④福 岡 市	6.7
⑮田 川	6.2
①北 九 州 市	5.5
⑬直 方・鞍 手	5.1
⑤筑 紫	4.7
⑩八 女・筑 後	4.6
⑭嘉 飯	4.5
⑫有 明	4.4
⑥糟 屋 中 南 部	4.4
②遠 賀・中 間	4.4
③京 築	4.3
⑪久 留 米	3.9
⑦宗 像・糟 屋 北 部	3.6
⑨朝 倉	3.3
⑧糸 島	3.1

● 人口 2020年/人

全 国	126,146,099
福 岡 県	5,135,214
④福 岡 市	1,612,392
①北 九 州 市	939,029
⑪久 留 米	452,986
⑤筑 紫	439,695
⑦宗 像・糟 屋 北 部	255,841
⑫有 明	211,617
⑥糟 屋 中 南 部	201,143
③京 築	183,302
⑭嘉 飯	174,715
②遠 賀・中 間	131,751
⑩八 女・筑 後	129,404
⑮田 川	117,958
⑬直 方・鞍 手	104,741
⑧糸 島	98,877
⑨朝 倉	81,763

● 高齢者比率 2020年/%

全 国	28.6
福 岡 県	27.9
⑮田 川	39.5
⑬直 方・鞍 手	38.1
⑨朝 倉	37.4
⑫有 明	36.6
⑭嘉 飯	35.9
③京 築	34.5
②遠 賀・中 間	34.4
①北 九 州 市	31.7
⑩八 女・筑 後	31.4
⑪久 留 米	31.0
⑧糸 島	30.0
⑦宗 像・糟 屋 北 部	26.1
⑥糟 屋 中 南 部	25.1
⑤筑 紫	24.6
④福 岡 市	21.9

● 人口1人あたり市町村民所得 2018年/千円

全 国	3,316
福 岡 県	2,884
④福 岡 市	3,153
⑦宗 像・糟 屋 北 部	2,997
⑥糟 屋 中 南 部	2,993
⑤筑 紫	2,987
①北 九 州 市	2,909
⑧糸 島	2,788
③京 築	2,689
②遠 賀・中 間	2,624
⑨朝 倉	2,595
⑪久 留 米	2,559
⑬直 方・鞍 手	2,544
⑫有 明	2,503
⑩八 女・筑 後	2,471
⑭嘉 飯	2,257
⑮田 川	2,010

● 製造品出荷額 2019年/百万円

全 国	322,533,418
福 岡 県	9,912,191
①北 九 州 市	2,322,094
③京 築	2,146,408
⑬直 方・鞍 手	1,602,127
④福 岡 市	582,268
⑪久 留 米	499,201
⑤筑 紫	422,300
⑦宗 像・糟 屋 北 部	391,876
⑫有 明	387,607
⑨朝 倉	362,455
⑩八 女・筑 後	361,463
⑥糟 屋 中 南 部	275,299
⑭嘉 飯	245,339
②遠 賀・中 間	133,670
⑮田 川	121,556
⑧糸 島	58,527

● 百人あたり生活保護率 2021年/%

全 国	1.63
福 岡 県	2.35
⑮田 川	9.45
⑭嘉 飯	4.54
⑬直 方・鞍 手	4.09
②遠 賀・中 間	2.78
④福 岡 市	2.63
①北 九 州 市	2.38
③京 築	2.05
⑫有 明	1.85
⑥糟 屋 中 南 部	1.70
⑤筑 紫	1.26
⑪久 留 米	1.14
⑦宗 像・糟 屋 北 部	0.99
⑨朝 倉	0.91
⑩八 女・筑 後	0.79
⑧糸 島	0.77

● 住民1人あたり地方債残高 2021年/千円

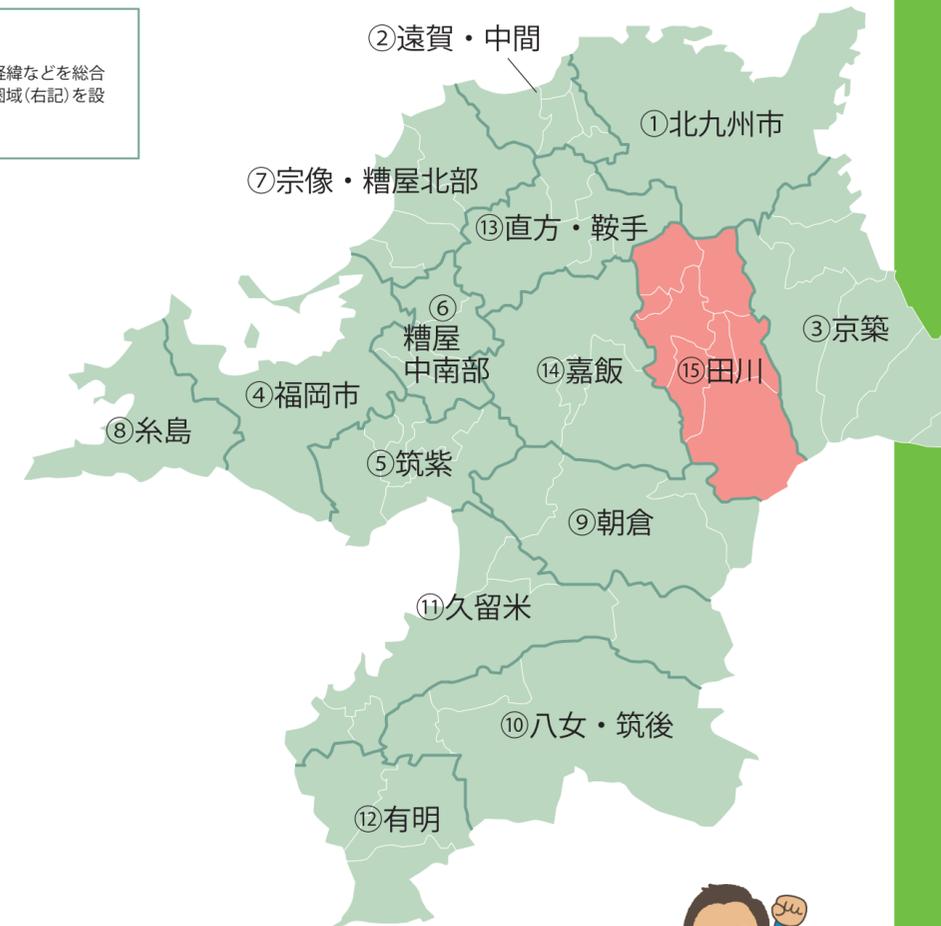
全 国	438.4
福 岡 県	631.8
①北 九 州 市	1,076.7
⑮田 川	1,025.1
⑨朝 倉	943.1
④福 岡 市	761.9
⑬直 方・鞍 手	596.4
⑭嘉 飯	538.7
⑫有 明	473.6
③京 築	429.7
②遠 賀・中 間	421.4
⑪久 留 米	386.4
⑩八 女・筑 後	368.4
⑦宗 像・糟 屋 北 部	299.0
⑥糟 屋 中 南 部	284.9
⑧糸 島	274.5
⑤筑 紫	257.3

福岡県広域地域振興圏域

- ① 北九州市
- ② 遠賀・中間 芦屋町/岡垣町/水巻町/遠賀町/中間市
- ③ 京築 苅田町/行橋市/みやこ町/築上町/吉富町/豊前市/上毛町
- ④ 福岡市
- ⑤ 筑紫 大野城市/春日市/筑紫野市/太宰府市/那珂川市
- ⑥ 糟屋中南部 久山町/粕屋町/篠栗町/志免町/須恵町/宇美町
- ⑦ 宗像・糟屋北部 宗像市/福津市/古賀市/新宮町
- ⑧ 糸島

- ⑨ 朝倉 筑前町/朝倉市/東峰村
- ⑩ 八女・筑後 八女市/筑後市/広川町
- ⑪ 久留米 久留米市/小都市/大刀洗町/大川市/大木町/うきは市
- ⑫ 有明 柳川市/大牟田市/みやま市
- ⑬ 直方・鞍手 宮若市/鞍手町/直方市/小竹町
- ⑭ 嘉飯 飯塚市/嘉麻市/桂川町
- ⑮ 田川 田川市/川崎町/香春町/福智町/糸田町/赤村/添田町/大任町

福岡県広域地域振興圏域とは
福岡県では、通勤・通学の人口動態、地理的状況、歴史的経緯などを総合的に勘案して、生活圏域としての実態を踏まえた15の圏域(右記)を設定しています。



「佐々木まこと」はこう考える

いずれの指標も厳しい田川地域 県行政は田川地域へさらなる支援を行うべき

田川地域の状況を見ると、高齢化率・犯罪件数・地方債残高など、いずれの指標も厳しい状況が続いています。特に製造品出荷額については、その地域に製造業が少ないことを端的に表しており、企業関連の厳しさも目立ちます。

また、市町村民所得は最も高い地域と田川地域では100万円を超える格差があり、所得面でも厳しい状況です。

福岡県の現状は、福岡都市圏一極集中がいよいよ進む一方、筑豊や筑後地域はいずれも厳しい状況が続いており、地域間格差はますます広がってきています。

定住促進はもちろん、教育の充実、インフラの整備など、あらゆる方面からの対策が必要です。そのためには、市町村行政だけでは限界があり、やはり県政の役割がとて大切です。

県行政は、この格差問題にもっと向き合い、とりわけ田川地域へのさらなる支援を行うべきです。地元県議としてもしっかり訴えていきます。



一般県道金田夏吉伊田線 歩道設置事業として新規事業採択

福智町金田から、田川市伊田までをつなぐ一般県道金田夏吉伊田線の、田川市の東町交差点から上伊田西地区に至る道路は、伊田小学校の通学路にも指定されている道路ですが、歩道が未整備のため、歩行者が危険な状況となっています。田川市や地元行政区から何度も歩道設置の要望が出され、私も県土整備事務所へ事業採択を訴えていたところでした。

そういった中、田川市東町交差点を起点とした歩道設置事業が採択されました。地元の皆様へ説明などを行っていく予定になっています。

今後、旧伊田中学校の位置に新中学校が建設される2023年4月以降は、通学生徒数が大きく増大することが見込まれます。早期の事業着手、そして完了に向け、私も地元の皆様と連携を密にしながら、頑張っていきたいと思っています。

一般県道 金田夏吉伊田線概要

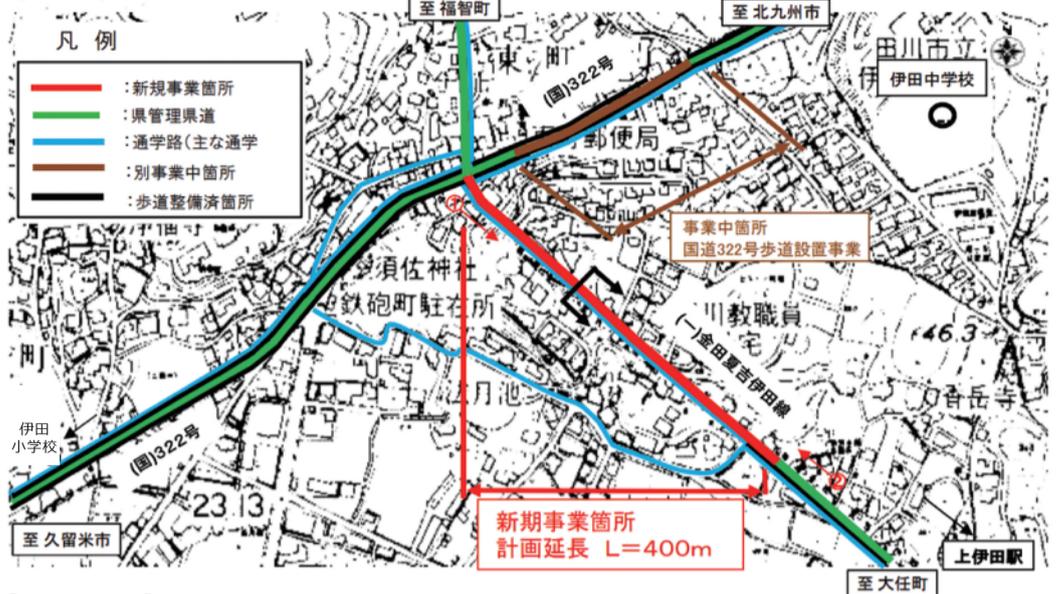
[路線の概要]

福智町金田の主要地方道北九州小竹線を起点とし、田川市の夏吉を經由し、田川市伊田の一般県道庄伊田線を終点とする道路で、主要地方道田川直方線 BP や国道 201 号、国道 322 号とも接続する幹線道路です。

[事業により期待される効果]

「歩道を整備」することにより、児童をはじめ歩行者の安全確保が図られ、当該事業箇所周辺の歩道は、整備済及び整備中であり、歩道の連続性が確保でき効果的です。

[事業概要図]



[現況写真]

福智町側から上伊田駅側を望む



上伊田駅側から福智町側を望む



代表質問 県職員男性育休、原則取得を 知事「長期の休暇・休業取得に向け取組を推進する」

会派代表質問において、県職員、教職員、県警察のそれぞれにおいて、男性育休等の取得促進を強く訴えました。

ジェンダー平等を推進していくためには、育児、家事などの負担を女性に押しつける風土を大きく変えていく必要があります。

特に育児については、女性の育児休業取得は非常に高い一方、男性の育児休業取得はまだ低く、取得促進のためには、行政職員が積極的に取得し、社会全体に広げていくことも大切です。

私自身は、希望する全ての男性職員が、障壁なく取得できる環境を、行政・民間ともに構築することが必要ですし、そのための民間企業の取組推進が急務だと感じています。

今回の答弁をもとに、具体的にどのように取組むのか、引き続きチェックと政策提言をしていきたいと思っています。

知事

「男性職員に、育児休業をはじめ、より長期の休暇・休業の取得を促す観点からも、佐賀県の新たな取組など他県の事例も参考にしながら、より効果的な取組の推進に努める。」

教育長

「職員が2週間以上の育児休業等を取得できなかった場合に、所属長に詳細な理由の報告を義務付けた佐賀県等の事例を参考に、効果的な取組みの推進に努める。」

県警本部長

「男性職員の育児参加しやすい職場環境の整備に努めてきた。育児休業取得率は2020年度76.5%まで向上しており、引き続き男性職員の育児参加促進に取組む」

追悼 小川洋前知事ご逝去

かねてより病氣療養中だった小川洋前福岡県知事は、昨年11月2日ご逝去されました。病氣からの復帰を心から願っていただけに、本当に残念です。

県知事として3期9年余にわたり奮闘され、特に近年は連続した豪雨災害に陣頭指揮をとられ、被災地域の早期復旧に取組まれました。日田彦山線復旧問題にも、全面復旧を願う私と意見は違いましたが、最終的に地元合意につながりました。

また、新型コロナウイルス感染症対策では、保健所体制を早期に強化し、また感染対策の関連予算も立て続けに編成するなど、連日、業務に忙殺されていたと思います。

心から哀悼の誠を捧げます。

なお、県議会でも開会式12月1日に弔詞を贈呈しました。



SNSで田川の良さと可能性を
多くの人に知ってもらいたい。

対談

第2回目



村吉 勇介

(むらよしゆうすけ)

1981年生まれ 40歳
専門学校卒業後、父親の
営む建設業に従事。
2018年に「行政書士村吉
法務事務所」を設立。
2020年から趣味の食べ歩
きをInstagramにて
本格的に投稿開始。現在
フォロワー約3万4千人。
2021年からは田川市に特
化したInstagramア
カウントを開設。

【佐々木】 Instagramでは3万4千人フォロワーってすごいですよね。グルメに特化した理由はどうしてですか。

【村吉】 元々、食べるのが純粋に好きで、最初は食べ歩きをSNSに載せるのを、趣味でやっていました。明らかに増えてきたのは、去年夏ぐらいからです。それは新型コロナの関係で飲食店が厳しい状況になったため、なにか自分にできることはないか、と思い、掲載方法などを分かりやすくしたり、詳しく載せたりして、そのお店に行ってもらえるような中身にしました。そうすると、一気に増えましたね。

ぶぶすけさんのインスタ画面



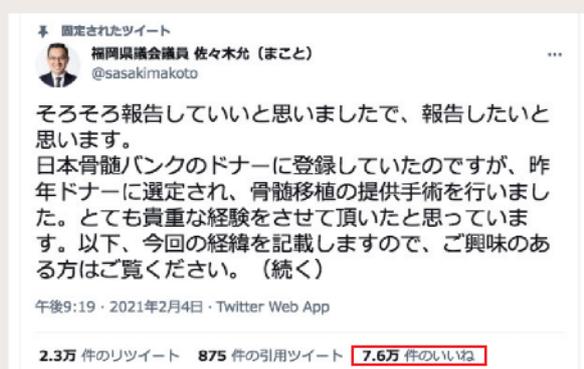
【佐々木】 1年数ヶ月でそんなに増えるものなんですね。お店の人にとっても、とても厳しい時期だったと思うので、インタビューも大変だったと思いますが、やってみてよかった、と思うことはなんですか。

【村吉】 僕の投稿を見て「行きました」「美味しかったです」という声うれしかったですね。それ以上に、お店の人からも「インスタ見て来た、と言ってたよ。ありがとう」という声を頂くようになりました。

見てくれた人も、お店も、そして私自身も幸せになれるって、なかなか仕事では得ることが少ない場面だけに、これまでになかったうれしさでした。

【佐々木】 私も前に骨髄ドナーのことをTwitterに書き、「いいね！」が7万6千人以上ありました。そしてその中で多くの人から骨髄ドナー登録をした、という声を頂きました。SNSでつながることの価値は、政治や社会を変えることでも本当に大切であり、もっと活用していきたいと思っています。村吉さんは最近、田川市に特化したInstagramも始めましたね？きっかけになったことは何ですか？

骨髄ドナーのTwitter記事



【村吉】 「田川市もいいところが沢山あるのに、知られていないことが沢山あるな」と思うようになりました。私自身、田川市で生まれ育ち、そして田川市が大好きな一人ですが、まだまだ知らないことばかりです。私のInstagramを見て、気軽に地域の価値を知ること、田川市の人々が幸せになる、また他の地域に住む人も、田川市の良さを発見してもらおう、そういうものになれば、と思い始めました。実際始めて2ヶ月ぐらい(2021年12月現在)ですが、600人を超えるフォロワーとなりました。

【佐々木】 一見すると古そうなお店でも、実は素晴らしいこだわりがあったり、地域の価値を再発見するきっかけにもなるんじゃないかと期待しています。今後は、このつながりを生かして、どんなことをしていきたいですか？

【村吉】 Instagramも含めたSNSは、瞬時に全国につながることができます。田川の中でなにかをするのではなく、他の地域からも田川を応援してくれるような仕掛けができれば、田川も元気が出るんじゃないかな。そんな風になる発信をしていきたいと思っています。

【佐々木】 今、地域にルーツのある人、地域を行き来する人、など地域と多様に関わる人々のことを「関係人口」称して、地域外の人材も、積極的に地域づくりの担い手になることが注目されています。田川は外に出た方が多いですが、逆を言えば全国で活躍している田川出身者が多いということですし、田川を好きになってもらう人を村吉さんのSNSをはじめ、多くの媒体やリアルでの交流で増やしていきたいと思っています。その点県議会議員は、地域の枠を超えて動ける良さもあります。一緒に、関係人口を増やす取り組みをしていきましょう。



@bu_bu_suke



@tagawasi_bubutan



11.6 連合後援会芋掘り会



後援会で芋掘り会をしました。子どもさんを中心に、たくさんの方と一緒に掘ることができました。とても甘い芋でした。

12.1 県議会「まごころ製品」販売会



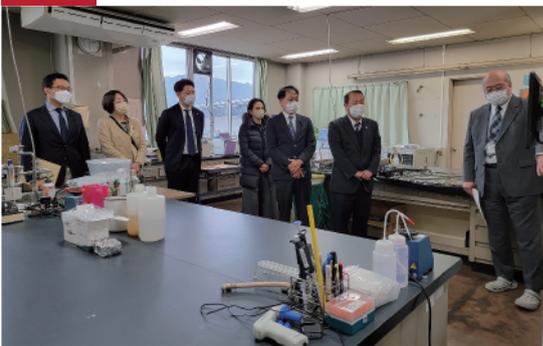
各地区の障がい者施設で作られた品物を「まごころ製品」と呼んでいます。販売会が県議会棟で行われました。川崎町「すみれアクティブセンター」の皆様が来られていました。

12.17 地元挨拶回り



地域の皆さんとの交流と対話は、私の大切にしている政治活動の一つ。この日は女性農業者の加工品施設を訪問。餅投げ用の餅をつくっていました。

11.22 県議会会派管内視察



私は政策部門を担う政策審議会の事務局長をしています。太宰府市にある県保健環境研究所を視察。新型コロナウイルスのゲノム解析施設などのあり方などを学びました。

12.14 福岡県庁 6次化商品販売会



福岡県庁では各地区のJAが集まり販売会を断続的に行っています。6次化商品の販売会。JA たがわでは、大任町のニンニク関連商品などが売られていました。

12.30 餅つき会



地元企業様のお餅つきに参加。毎年お呼ばれしています。ご存じの方も多いと思いますが、「あいどり」もさせて頂きました。唯一とも言える特技です。

11月活動報告

- 4 連合後援会幹部会
- 5 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）
- 6 連合後援会芋掘り/量り売りマルシェ
- 8 県議会建築都市委員会管外視察（香川県）
- 9 県議会建築都市委員会管外視察（香川県）
- 10 県議会建築都市委員会管外視察（愛媛県）
- 11 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）/第6回新福岡県立美術館基本計画策定委員会（福岡市）
- 13 旧田川農林高校同窓会「鎮西同窓会」総会
- 15 都道府県議会議員セミナー（東京都）
- 16 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会会派政策審議会（福岡市）/田川警察署管内報告
- 17 国際化・多文化共生社会調査特別委員会管外視察（青森県）
- 18 国際化・多文化共生社会調査特別委員会管外視察（青森県）
- 19 国際化・多文化共生社会調査特別委員会管外視察（岩手県）
- 20 第35回少年の主張田川大会
- 21 地元青壮年団「上位登会」山笠点検/ゆめっせフェスタ2021
- 22 県議会会派管内視察（筑後市・太宰府市）
連合後援会「清流の会」懇親会
- 23 終日地元活動
- 24 県議会会派総会（福岡市）/県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）/県議会会派政策審議会（福岡市）
県議会タイ友好議員連盟懇親会（福岡市）
- 25 西鉄労組筑豊支部との意見交換会（飯塚市）/連合福岡京築田川地域協議会議員懇談会第24回総会（行橋市）
- 26 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
県議会サッカー部練習（福岡市）
Startup weekend 田川
- 27 終日地元活動
- 29 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
連合後援会「允進会」懇親会
- 30 終日地元活動

12月活動報告

- 1 県議会本会議（福岡市）/まごころ製品販売会
- 2 県議会会派代表質問勉強会
- 4 田川市美術館開館30周年記念黒田征太郎展開会式第29回ふくおか県民文化祭2021表彰式（福岡市）
- 6 県議会本会議（福岡市）
- 7 県議会本会議（福岡市）
- 8 県議会本会議（福岡市）
タイ友好議員連盟役員会（福岡市）
県議会観光産業振興議員連盟講演会（福岡市）
- 9 県議会本会議（福岡市）/福岡県日中友好協会創立70周年記念誌発刊記念式典（福岡市）
- 10 県議会本会議（福岡市）
- 11 終日地元活動
- 12 黒田征太郎「戦争童話集」田川公演
- 13 県議会本会議（福岡市）
- 14 県議会建築都市委員会（福岡市）/6次化商品販売会
- 15 非正規雇用フォーラム（福岡市）
- 16 県議会会派政策審議会企画会議（福岡市）
- 17 県議会本会議（福岡市）/県議会建築都市委員会（福岡市）
- 18 終日地元活動
- 20 県議会本会議(福岡市)/九州の自立を考える会総会(福岡市)
- 21 終日市民相談対応
- 22 終日地元活動
- 23 終日地元活動
- 24 終日地元活動
- 26 新生工務店餅つき会/いたまちウォーキング
- 27 寿楽園餅つき会/地元産小麦プロジェクト会議
- 28 終日地元活動
- 29 連合後援会事務所仕事納め
- 30 株式会社ケンタツ餅つき会
- 31 各地区神社年末挨拶回り

福岡県議会議員 佐々木まこと

LINE 公式アカウント

はじめました!



地元情報も満載!



登録方法



毎日最新のコロナ感染者数を配信

無料法律相談のご案内

日々の活動報告など

- ①左のQRコードを読み取り追加ボタンをクリック
- ②LINE アプリを起動→「友だち追加」→「検索」
検索欄に「@makoto-line」を入力して追加する
- ③URL アクセス <https://line.me/R/ti/p/DLy6r17UAe>

佐々木まこと事務所 〒825-0002 田川市伊田4510-6 TEL 0947-85-9015 FAX 0947-85-9007

第75回 弁護士による
無料法律相談開催

担当弁護士：田川市役所前法律事務所 森竹 卓郎弁護士

開催日程

1月25日(火) 17:00~
佐々木まこと事務所にて

1回30分程度・相談は1人1回まで

ご予約連絡先 0947-85-9015

※ご希望の方は1月21日(金)までに事務所までご一報下さい